

9月13日 児童朝会での講話

板橋第六小学校の教育目標の一つに、「思いやりをもって 協力する子」があります。私たちが思いやりをもって行動するには、何が大事だと思いますか。

校長先生は「勇気」だと思います。頭で分かっているけど心で感じていても、勇気がないと行動できないからです。

校長先生が皆さんと同じ小学生だった頃、一人の女の子が仲間はずれにされたことがありました。理科の実験のときに、その子だけ見せなかったり、物を渡さなかったりしたのです。心配してその子の顔を見ると、平気な顔をしています。いつも、同じことをされているからです。

さて、クラスの中にそのような子がいたら、皆さんはどうしますか。校長先生も、「そんなことしちゃ、だめだよ」と注意をしました。そして、実験器具をその子に渡しました。でも少し、勇気が必要でした。勇気というのは、どこかにあるのではなく、自分でふるい起こすものだと思います。

その子の顔を見ると、何とも言えないうれしそうな顔をしていました。そのときに、勇気を出して言ってよかったなあと思いました。皆さんも勇気をもって、思いやりの心を広げていってください。

話は変わりますが、皆さんと同じ地域に住んでいて、高島特別支援学校に通っているお友達があります。一年生で、名前はA君です。では、A君を紹介します。

A君は今年、運動会と学芸会を見に来る予定です。また、昼休みに一年生と一緒に遊びに来るかもしれません。学校で会ったとき、学校の外で会ったときは、声をかけあって仲良くしてください。